

## 第4回機関リポジトリ推進委員会議事要旨（案）

1. 日時：平成26年5月26日（月）15:00～18:45
2. 場所：学術総合センター 19階1901会議室
3. 出席者：

（委員）

加藤 信哉	筑波大学附属図書館・副館長（委員長）
行木 孝夫	北海道大学大学院理学研究院 数学部門・准教授
富田 健市	北海道大学附属図書館・事務部長
杉田 茂樹	千葉大学附属図書館・利用支援企画課・課長
森 一郎	信州大学附属図書館・副館長
大前 富美	大阪府立大学学術情報センター学術情報室・主査
菊池 亮一	明治大学学術・社会連携部・図書館総務事務室・事務長
佐藤 翔	同志社大学社会学部教育文化学科・助教
安本 裕和	関西学院大学図書館・事務部長
山地 一禎	国立情報学研究所学術ネットワーク研究開発センター（コンテンツ科学研究系）・准教授
相原 雪乃	国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課・課長
高橋 菜奈子	国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課・副課長

（陪席）

西薊 由依	鹿児島大学学術情報部（附属図書館）情報サービス課情報調査支援係
尾城 孝一	国立情報学研究所 学術基盤推進部・次長

（事務局）

前田 朗	国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 図書館連携チーム・係長（IR担当）
加藤 寛士	国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課・特任技術専門員
後迫 久美	国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 図書館連携チーム・係員（IR担当）

（欠席）

池田 大輔	九州大学大学院システム情報科学研究所・准教授
-------	------------------------

&lt;配付資料&gt;

第4回機関リポジトリ推進委員会出席者名簿

機関リポジトリ推進委員会規程

1. 第2回機関リポジトリ推進委員会議事要旨（案）
2. 第3回機関リポジトリ推進委員会議事要旨（案）
3. SPARC2014 Open Access Meeting 報告
4. 提言 我が国の学術情報基盤の在り方について -SINETの持続的整備に向けて-
5. 科学技術・学術審議会学術分科会 学術情報委員会（第8回）報告資料
6. 平成25年度機関リポジトリ推進委員会活動報告

7. 大学の知の発信システムの構築に向けて
8. 平成 26 年度機関リポジトリ推進委員会活動（案）
9. 機関リポジトリに係る国際連携対応について（案）
10. 機関リポジトリ推進委員会ウェブサイト開設（案）
11. 連携・協力推進会議ウェブページ

<参考資料>

1. JAIRO Cloud の現状について
2. 権利者不明等の場合の裁定制度における権利者検索のための「相当な努力」の見直し（平成 21 年文化庁告示第 26 号の一部改正）に関するパブリックコメント（意見公募手続）の実施について

4. 議事：

(1) 委員長選出

機関リポジトリ推進委員会規程に基づき、加藤委員が推薦され、満場一致で委員長に選出された。

(2) 第 2 回議事要旨（案）確認

配付資料 1 について確認し、原案どおり承認された。

(3) 第 3 回議事要旨（案）確認

配付資料 2 について確認し、原案どおり承認された。

(4) SPARC2014 Open Access Meeting の参加について（報告）

鹿児島大学 西蘭氏から、配付資料 3 に基づき SPARC2014 Open Access Meeting の参加報告があり、意見交換を行った。

(5) 我が国の学術情報基盤の在り方について（報告）

相原委員から、配付資料 4、5 に基づき、SINET5 の将来構想や JAIRO Cloud の展望等、我が国の学術情報基盤についての報告があり、意見交換を行った。

(6) 平成 25 年度の機関リポジトリ推進委員会の活動について（報告）

事務局から、配付資料 6、7 に基づき、平成 25 年度の本委員会の活動について説明があった。また、配付資料 7 の「大学の知の発信システムの構築に向けて」が第 7 回連携・協力推進会議で承認された旨の報告があった。

(7) 平成 26 年度の機関リポジトリ推進委員会の活動について（審議）

事務局から、配付資料 8 に基づき、平成 26 年度の本委員会の活動について提案があった。合わせて、杉田委員から配付資料 9 に基づき、国際連携についての提案があった。

意見交換の結果、機関リポジトリ推進委員会の下に「コンテンツ」「国際連携」「技術」の 3 つの WG を設置し、そのための協力員を募集することが了承された。また、WG の主査及び副主査は委員会委員が担当することとなり、以下のとおり選出を行った。

- |          |                   |
|----------|-------------------|
| 1. コンテンツ | 主査： 杉田委員、副主査： 森委員 |
| 2. 国際連携  | 主査： 富田委員          |
| 3. 技術    | 主査： 佐藤委員          |

なお、コミュニティ活動のうち、情報共有の促進については、独立した WG を設けず、各 WG 内で必要に応じて行うこととなった。また、イベントの開催は、必要に応じて本委員会で検討することとなった。

また、今後の進め方について以下のことを決定した。

#### 【各 WG の活動内容】

- ・WG の活動内容は、事務局で整理したものを、委員長及び各 WG の主査・副主査が調整し、最終的には、次回委員会で確認する。

#### 【協力員の募集】

- ・協力員の募集は、本委員会から国公立大学図書館協力委員会を通じた加盟機関への照会や、DRF や JAIRO Cloud コミュニティなど国内の機関リポジトリコミュニティによる募集、本委員会の各 WG 主査からの推薦、といった複数の方法で実施する。
- ・協力員の人数は各 WG で 5～10 名程度を目安とする。
- ・協力員は、応募者の中から委員長と WG の主査とで検討し決定する。

#### (8) 機関リポジトリ推進委員会のウェブサイト開設について（審議）

事務局から、配付資料 10 に基づき、機関リポジトリ推進委員会のウェブサイト開設についての提案があり、以下を修正のうえ了承された。

- ・ニュース欄をトップページの下に設ける。
- ・日付をすべてのコンテンツにつける。
- ・ウェブサイト開設当初の更新は事務局で行い、更新内容の確認は委員長に依頼する。各 WG に広報担当が設置された後の運用については、別途検討する。

#### (9) その他

- 1) 事務局から、参考資料 1 に基づき、現状の JAIRO Cloud に関する情報提供があった。
- 2) 森委員から、参考資料 2 に基づき、平成 21 年文化庁告示第 26 号の一部改正に関するパブリックコメントについての提案があった。この改正により、孤児著作物などの機関リポジトリ掲載にかかるコストと期間を短縮できることから、本委員会としてパブリックコメントを提出することが了承された。コメントは森委員が草案を作成し、本委員会でメール審議をすることとなった。
- 3) 次回委員会については、WG の活動内容や協力員を本委員会で確認することを踏まえ、開催時期を見直すこととなった。

以上